

標 題	水稲乾田直播栽培現地研修会を開催！！ ～高まる省力・低コスト化栽培への期待～
-----	---

(ダイジェスト)

5月24日、昨年度に引き続き、石西地域農林振興協議会主催で水稲乾田直播栽培の現地研修会を開催しました。当日は生産者、関係機関計45名が集まり播種作業について理解を深めました。法人構成員の高齢化、担い手不足が課題となる中、省力・低コスト化への関心が益々高まっています。

益田地域では飼料用米を中心に平成29年産から乾田直播栽培の試験的な取り組みが始まっています（H30年普及情報No. 8、19参照）。平成30年産は5法人7ha、令和元年産は5法人15haと年々取り組み面積が拡大していますが収量が安定しないなど技術の確立が課題となっています。

そこで、今回、益田市横田町において先進的に乾田直播栽培に取り組んでいるT法人のほ場を会場に播種作業の実演会を開催し、生産者、関係機関相互に理解を深めました。

当日は普及部から昨年の実証結果や先進地での事例について説明した後、T法人組合長より乾田直播栽培に取り組んだ経緯や技術的な課題についてお話をいただきました。これまでの経験から①整地、均平、②播種量、③覆土の厚さが重要であり、今回は参加者で播種量や覆土の厚さなどについて実際に確認しながら播種作業を行いました。

次回は7月上中旬に再度、生産者、関係機関で現地研修会を開催する予定です。

普及部は、今後も関係機関と連携し、実証ほ（県飼料用米効率的生産対策事業）を活用した現地研修会を開催し、技術の確立・普及に重点的に取り組んでいきます。



研修会の様子



- 一発耕起播種機（8条播種）
- 作業内容：耕起・砕土・播種・施肥
 - 作業時間：30分/10a
 - 播種量：4kg/10a
 - 施肥量：N10kg/10a